

みょうじんいけ
明神池

| 所在地 | 松本市安曇上高地 | 酒類 | 池 |
|--|----------|----|---|
|  | | | |
| 概要 | | | |
| <p>穂高神社奥宮の奥にあるのが荘厳なムード漂う明神池。この針葉樹林に囲まれた神秘的な池はひょうたんの形をしていて、手前を一乃池、奥を二乃池と呼び、かつてはその奥に三乃池がありました。</p> | | | |
| 水質・水量 | | | |
| <p>伏流水や湧水を集めた明神池は、結氷しないことで知られています。</p> | | | |
| 周辺環境 | | | |
| <p>池にはイチョウバイカモという珍しい水草が見られ、岩魚やマガモの姿も見られます。</p> | | | |
| 利用状況 | | | |
| <p>お船神事は毎年10月8日に、穂高神社奥宮で行われる山の安全を神に感謝するお祭りです。雅楽の調べの中、龍頭鷗首(りゅうとうげきしゅ)の2艘のお船を池に浮かべ繰り広げられる光景は、まるで平安絵巻のようです。</p> | | | |

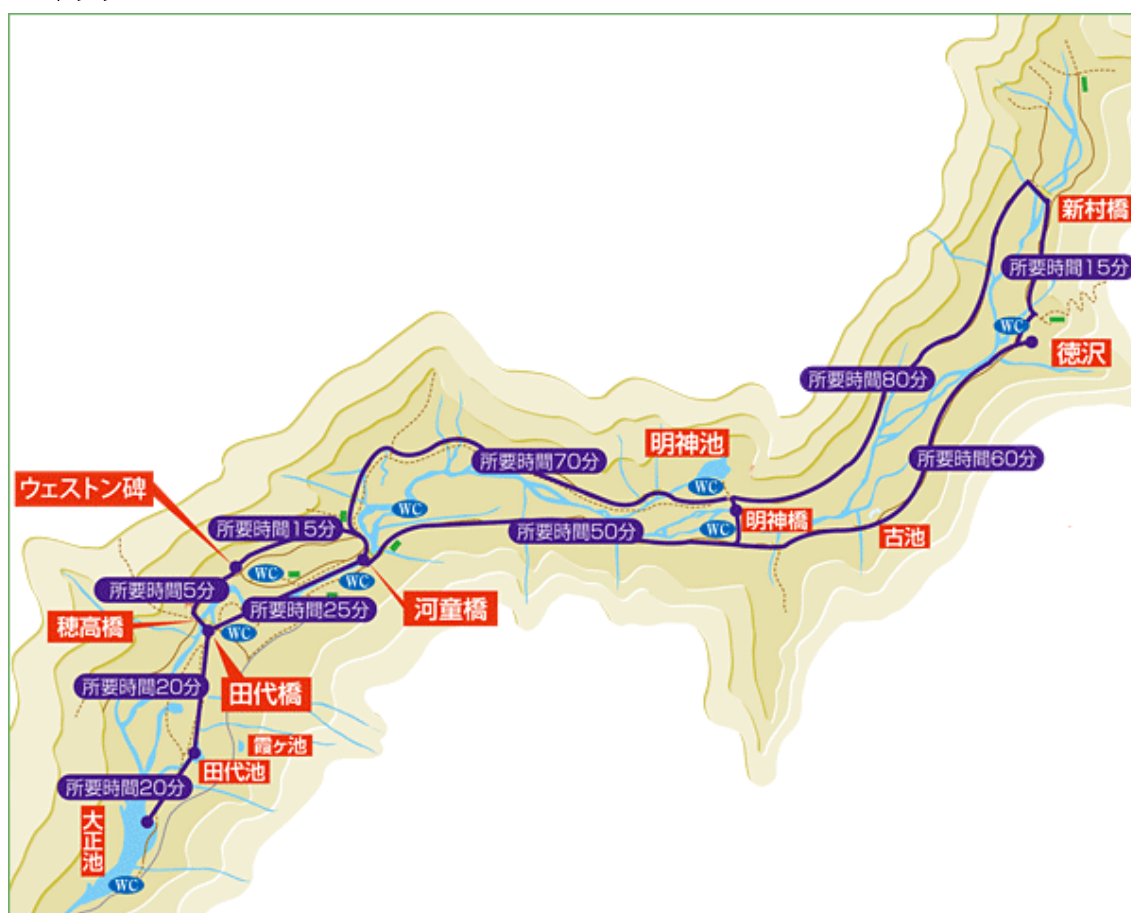
故事来歴

明神池の脇にある穂高神社奥宮は俗名、穂高見命（俗名）の神様が祭られています。穂高見命の見とはオサメルという意味のようです。綿積（海神・わだつみ）の神の嫡子。神武天皇の叔父さんにあたるようです。安曇、綿積、住吉等、綿積系の領地の形跡は、北九州、大阪はじめ西日本各地に点在します。菊のご紋が使われています。穂高岳の続きに位置する明神岳の直下に存在する池の為、明神池と呼ばれる。

アクセス

長野道松本 IC より国道 158 号経由で沢渡駐車場まで 1 時間。シャトルバスまたはタクシーに乗換え 30 分。上高地バスターミナルから徒歩で約 1 時間。

<マップ>



お問い合わせ

松本市安曇支所観光課

〒 390-1592 松本市安曇 1061-1

TEL : 0263-94-2307 E-mail : azumi_kanko@city.matsumoto.nagano.jp

当該湧水等の URL

<http://www.hotakajinja.com>